

# ★親子で星空さんぽ★

## 第1夜「接近中の火星を見よう」

「★親子で星空さんぽ★」第1夜のテーマは、地球に接近した火星です。

南東の空にやや赤くかがやく星があります。これが火星です。火星は5月31日に約2年ぶりに地球へ接近しました。地球と火星は2年2か月で接近を繰り返しています。現在、火星はさそり座の目の前、はさみとはさみの間にいます。次に火星の左の方向にやや明るい星があります。この星は次回のテーマでもある土星です。今度は土星の右下の方向にやや赤い星がかがやいています。これはさそり座の1等星「アンタレス」という星です。「アンタレス」という呼び名は、このあたりによく火星（戦いの神：アーレス）が通るので、火星「アーレス」に対抗するものという意味の「アンチ」をつけた「アンチ・アーレス」から「アンタレス」と呼ばれています。いくら火星に対抗するものでも、火星の方がとても明るいので勝ち目はありません。

さて、今回の火星の接近は中距離で約7500万 km です。この距離は、ずっと休まずに歩いたとして2140年もかかります。（ロケットだと約3ヵ月）2年後の接近は約5700万 km で大接近となり、今回よりも3割くらい大きく見えます。

今日、天気がよければ望遠鏡で、火星の様子が見えるかもしれません。

### ■これからは「火星の時代」です

オレンジ～茶色に見える火星は砂と岩の星とされています。火星の砂は酸化鉄（さび）などで、この色が赤茶色に見えています。火星は地球の半分くらいの少し小さな惑星です。太陽からはなれているため、気温は-40度くらいでとても寒いところです。空気は95%が二酸化炭素で、人間は宇宙服がないと生きていけません。しかし、早ければ30～40年後には、火星へ人間が行ける時代になっているかもしれません。みなさんの中から火星探検の宇宙飛行士が誕生しているといいですね！

さらに数千年～数万年の時間をかけて、火星の温暖化をすすめて気温を高くし、砂の中から酸素を取り出して、人間が住める環境にする計画もあります。

### ■次回7月1日(金)の午後7時30分から「土星を観察しよう」です。

季節は7月でもう夏です、今日も見えていた「わ」のある土星を観察してみましょう。